

連携医療機関 御中

中国労災病院 救急外来からのお願い

平素より多くの患者をご紹介いただき、誠にありがとうございます。

お蔭をもちまして昨年度も多くの救急患者を診療させていただき、救急搬送患者のうち入院が必要な重症の患者が5割を越えるようになりました。改めて救急外来の重要性を感じているところでございます。厚く御礼申し上げます。

当院の救急部では、ほぼ全科の担当医が待機して救急患者に対応しております。患者をご紹介いただく際には、可能な限り紹介状の宛先に（「内科」「整形外科」のような）担当科名の記載をお願いしていますが、一部、宛先が「救急部」とだけ書かれていることがあります。この場合、救急外来において担当医の選択に苦慮することがあり、特に各診療科の境界領域の疾患のときは、時として救急外来で患者を長時間待たせる原因ともなっております。

診療科の選択に迷われる場合は、診療時間内であれば地域医療連携室担当者に担当科を選択させていただければ患者対応が円滑に行えますし、また、患者に直接紹介状を持たせる場合には先生のご判断で診療科名を記載していただければ、よりスムーズな連携が行えます。

「院長挨拶」の中にも書かせていただきましたように、当院では4月から暫くの間、救急医が減員となります。これまでと同様、救急外来を円滑に運用するために、各診療科との協力体制を強化していく努力をしております。

まことに勝手なお願いで申し訳ございませんが、救急部のより円滑な運営のためご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成29年4月吉日
中国労災病院救急部